

人口減少対策ワークショップ「第3回ゆるっと未来トーク」まとめ

1 進め方

①グループワーク(30分)

前回のまとめた結果についてみんなで意見を出し合います。

テーマ 20年後の「十勝」を「〇〇〇(こんな)十勝」にするために、今できること

アイデアの中から、解決策のストーリーを考えてみましょう。

このアイデアをだれに伝えようか？

どの人にどう行動してほしいか？

このストーリーの主人公は？

私が地域のリーダーだったら？

②プロジェクトの発表・意見交換(40分)

グループ毎にプロジェクトを発表、全員で意見交換していきましょう。



プロジェクト完成!!

③「十勝人口減少問題対策検討会」等へ提言

振興局ではこの提案について、今後個別に取り組めるよう検討します。

2 前回までのまとめ

グループワークのまとめ

流出対策

まちをつくり、人を作る。
居場所ができれば人は出て行かない

まちづくりは人づくり

- ・ 仕事を知る
- ・ 企業(仕事)をPRする
- ・ 企業の受入体制を整える

流入対策

地域の強みを最大限に引き上げ、
他地域からの流入を期待。

十勝の食で地域魅力アップ

- ・ 十勝製品のブランドを強化する
- ・ 生産・製造の現場を体感する
- ・ 効果的な情報発信を行う

プロジェクト のアイデア

義務教育で経営者に授業をしてもらう

学校の授業を行政によりアレンジ。十勝の仕事を知ってもらう授業に

職場体験・インターンシップの受け入れ

マイナビなど大手の就職相談会にまとめて出展

商店街や町の経営者を巻き込んだイベントの開催。地元の子ども達と一緒に祭りを作る

十勝産シリーズを作る (BBQ素材のような)

工場 (生産現場) の見学をする

SNSやメディアを使った効果的な情報発信 (プロデューサーが必要)

集える場所を作る (三世代が、地元イベントに併せてPR、年代別に集まりそうな場所を選定)

3 プロジェクト発表・意見交換

5グループに分かれて、話し合いの後、発表・意見交換をしました。

以下、プロジェクト発表の主な発言内容と意見交換

提案されたプロジェクト

プロジェクト名	概要	20年後の十勝はこうなる！
十勝で選ばれる職業No.1：農業!!	畜大生や農業高校の生徒が主役となり、地域の子どもたちや外国人の方に十勝の農業を理解してもらう取組を進める。十勝特有の「大規模かつ最先端のスマート農業」を体験させ、外国人技能実習生との交流なども実施。	農業法人が増え、加工会社も増える。農業やその関連産業を元気にして人を呼び込む！
【仮称】キザニア十勝夏まつりプロジェクト	地元の商店街を舞台に子どもたちが仕事体験できるイベントを開催。仕事の大変さや価値を学ぶ。そこで得られた対価を原資に花火大会への協賛を行うなど後続事業も展開する。	プロジェクトに参加した子どもが商店街を元気に！新しい風を！
フロンティアスピリッツ☆プロジェクト	「フロンティアスピリッツ」をもった人達と子どもたちが直接ふれあい、仕事を知ると同時にチャレンジへの興味を引き出すため、新しく十勝で起業した人やチャレンジしている人達が講師となり中学生、高校生向けに出前授業を実施する。	授業を受けた子たちが次は授業をする番に。
リモート職場づくり	リモートで仕事ができる環境を整備するため、シェアオフィスやコワーキングスペースなどの環境の整備を行政が中心となり積極的に進める。利用者の利便性向上のためにカーシェア制度、キッチンカーでのランチの充実などに取り組む。	十勝で働く人が増える！
スーパーコンパクトシティ構想	困りごとを抱える人達の暮らしを助けるコーディネーターを設置して色々な悩みを解決。ベビーシッターのマッチングや、生活 MasS を取り入れ、便利なまちづくりを。	世界と首都圏とダイレクトにつながる大自然の中のコンパクトシティ

プロジェクト名	十勝で選ばれる職業No.1:農業!!
20年後の十勝はこうなる	農業法人が増え、加工会社も増える。農業やその関連産業を元気にして人を呼び込む!

🎵 私たちの考える20年後のための人口減少対策プロジェクト! 🎵

ほった (33) on local
ほった (23) 畜大
ほった (17) 三好市役

<プロジェクト名>	
(だれがやる?) 畜大・農高生	(何をしますか?) ・高校での農業実習の日数(増) ・1人でも多くの外国人労働者を雇用する。 ・大学生が学んだことをプレゼンで伝える。
(誰に向けて?) ・外国人 ・地域の子供たち	

最新の農業に触れる
外国人と十勝人の子供同士の交流
十勝の子供みんなが農作物理解
外国人技能実習生 → もっと積極的に農業を!
トラクター経験 → ステージに
農業が魅力的

★そして、20年後

十勝で選ばれる職業No.1:農業!!

農業法人 増える
加工会社 増える
↓
人口が増える

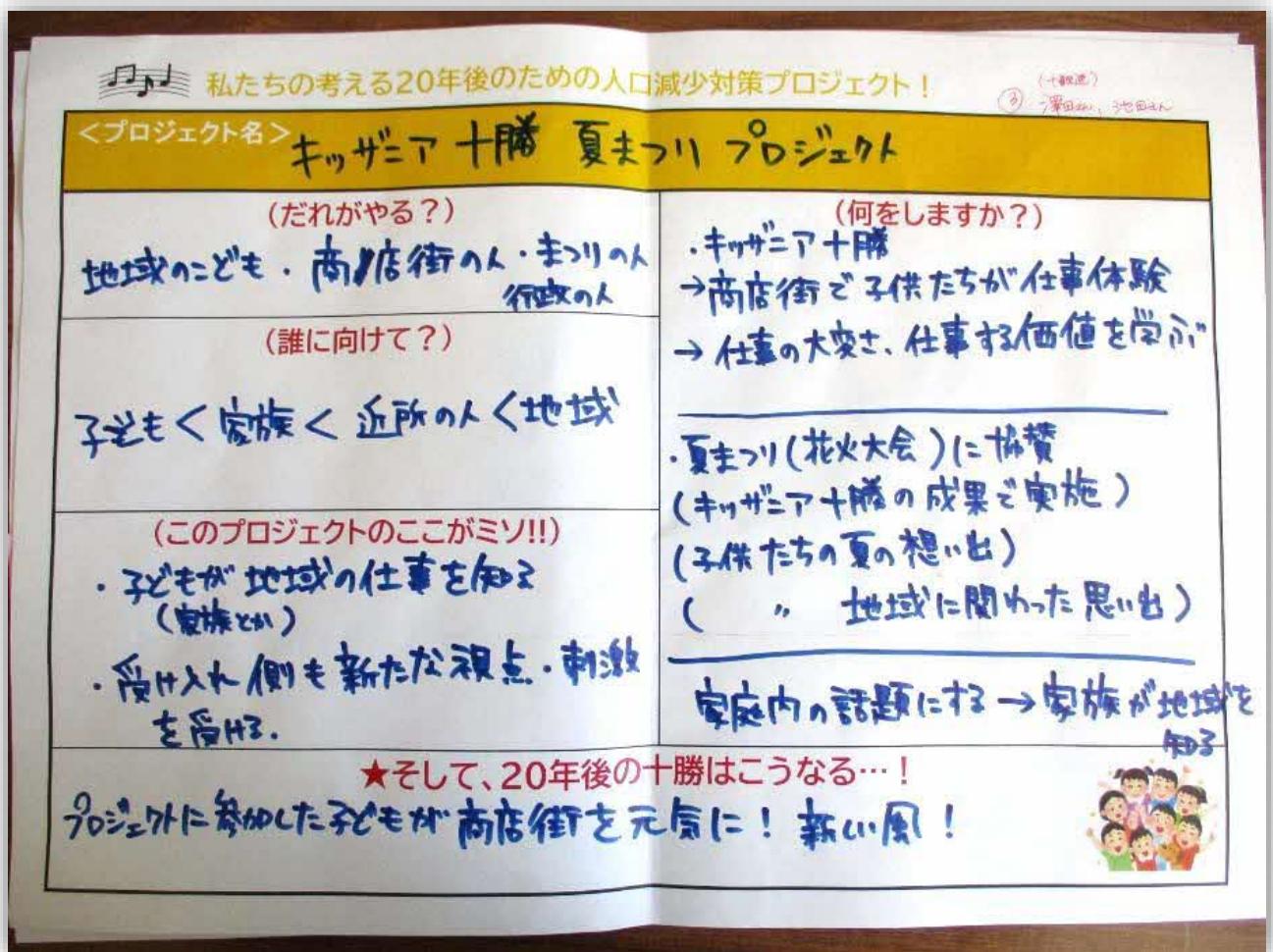
○主な発言 (発表者)

- ・畜大生や、農高生などが、地域のいろんな世代の子どもたちや外国人の方に農業を学んで感じたことをプレゼンする。高校での農業実習を長期間にして、より幅広く体験してもらおう。外国人労働者を一人でも多く雇用する。
- ・「ミソ」の部分は、最新の農業に触れること。手掘り体験など、今の農作業の中ではやらないことではなく、最新の農業（大規模、最先端、スマート農業）を体感し、十勝の農業をもっと理解してもらおう。
- ・十勝地域で学ぶ外国人技能実習生と子ども同士の交流事業などを企画する。
十勝の子どもはみんなトラクターに乗ったことがあるという経験をさせてあげたい。
- ・20年後の十勝は、農業法人が増え、加工会社、関連産業が盛んになり雇用者が増える。

○意見交換

- ・インターンシップ先は各学校が選定していて期間は1、2日間が実態。畜大生が子どもたちに農業の魅力を伝えるのは面白いなと思った。若い人達に魅力を伝えてほしい。
- ・最新の農業を伝えることが大事。つい先日、管内の農協の方が、スマート農業が広がり農家が豊かになると、関係業者、産業も集まって地域全体が豊かになる…というビジョンを描いているという話をまさにしていた。
- ・農業が、家業を継ぐ人ばかりでなく、就職するという感覚になるのは大事だなと思っていたので、実現してほしい。

プロジェクト名	キッサニア十勝 夏まつりプロジェクト
20年後の十勝はこうなる	プロジェクトに参加した子どもが商店街を元気に！新しい風！



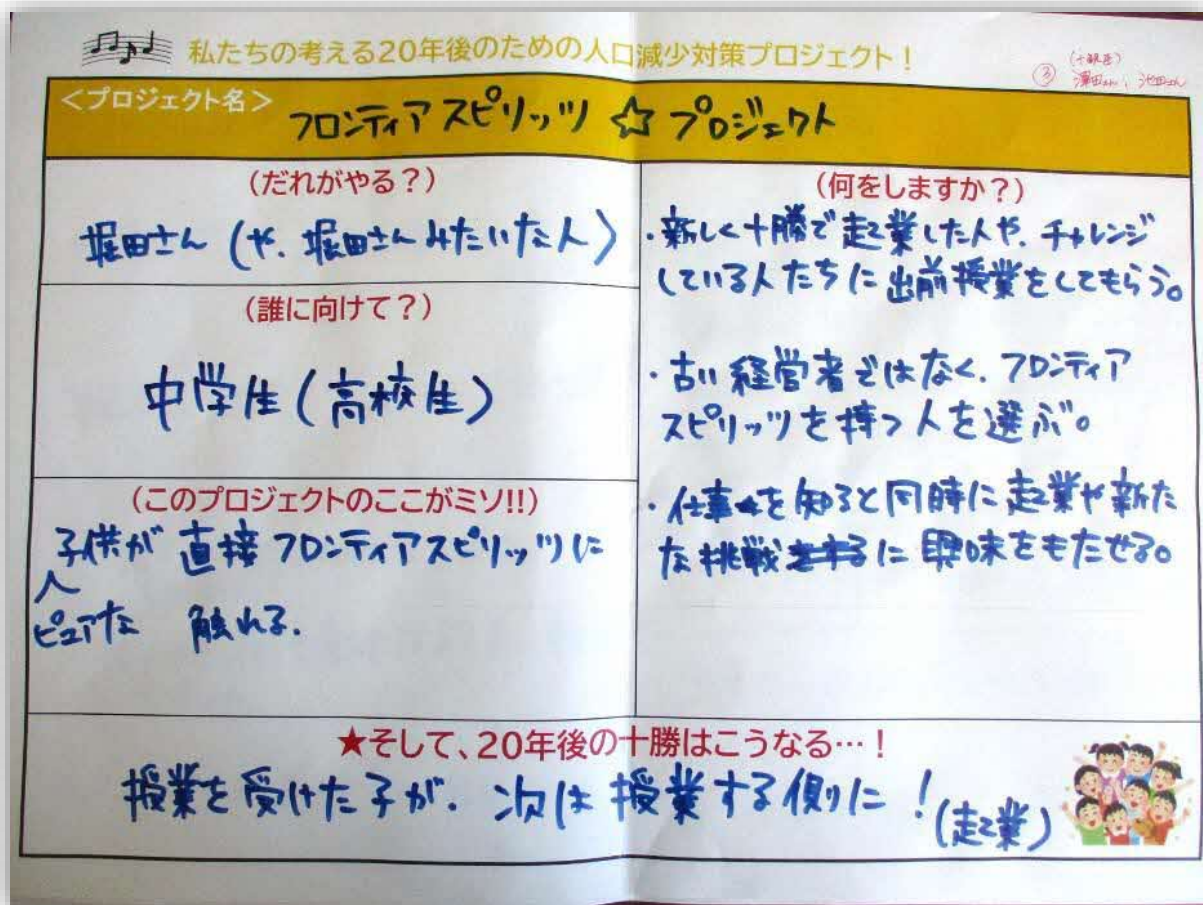
○主な発言（発表者）

- ・「キッサニア」の取組を十勝の商店街で実施する。
子どもたちが地元商店街に仕事体験に行く。仕事の大変さや価値を学ぶ。そこで得た成果（対価）を使って地元の夏祭りの花火大会などに協賛をするなど、子どもたちに、仕事の成果で得た物を、地元のイベントに活かす、実行する、という体験をしてもらう。
地元商店街を巻き込むことで商店街自体にも人が出向くことも期待される。
その家庭内の話題となれば（親、祖父母）地域に広がる。
- ・20年後の十勝は、子どもが商店街を元気にして、新しい風をふかす。

○意見交換

- ・課程の中での発信みたいな物に着目するのは良かった。
影響力が大きい物だと思うので夢があった。

プロジェクト名	フロンティアスピリッツ☆プロジェクト
20年後の十勝はこうなる	授業を受けた子たちが、次は授業をする番に。



○主な発言（発表者）

- ・新しく十勝で起業した人やチャレンジしている人たちが講師となった出前授業を中高生向けに実施する。そういうフロンティアスピリッツ（開拓者精神）を持った人たちと子供たちが触れ合うことで、仕事を知らると同時に起業や新たな挑戦に興味を持たせることができる。

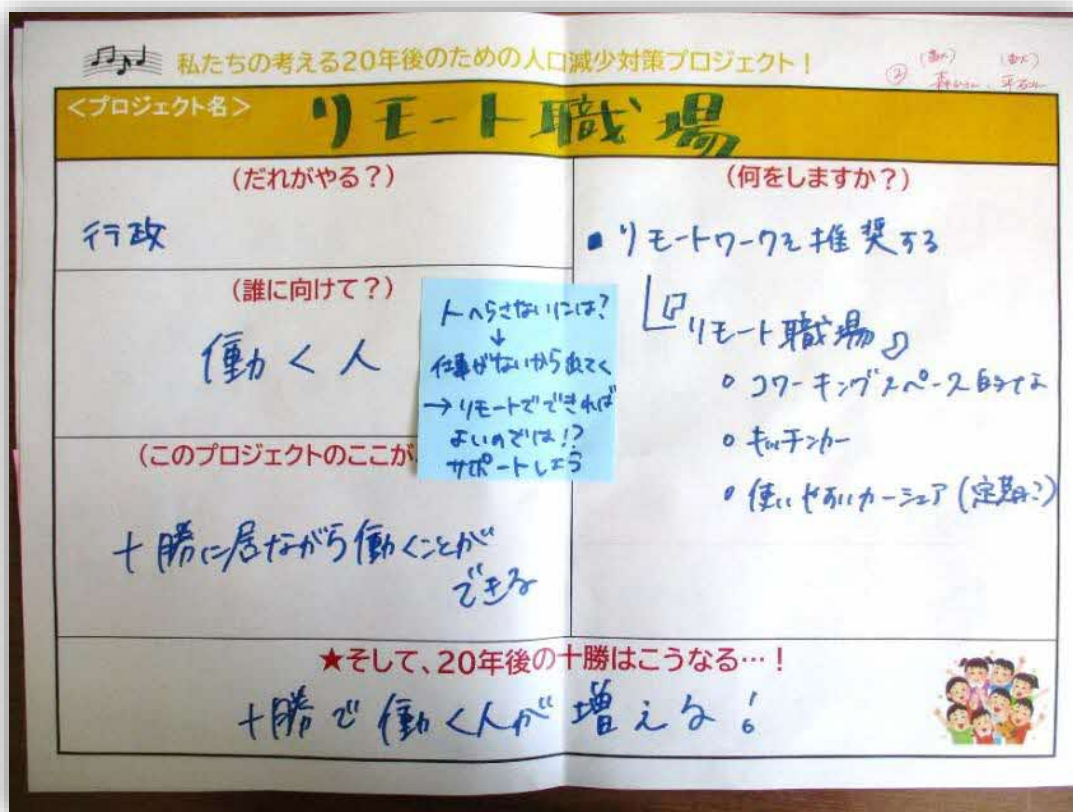
【例えば】 at LOCAL 堀田代表のような方に子どもたちと触れ合ってほしい。

- ・20年後のとかちは、授業した子が次は授業する立場になる。

○意見交換

- ・起業している人が中高生に授業することで身近に頑張っている人がいるということ、十勝はチャレンジを受け入れる地域なんだということを若いうちから感じてもらえる。
自分もここで頑張れるんだなという風に感じてもらえれば素敵だと思う。
- ・振興局でも中学生向けではないが、同じようなことをやれないか（高校生に出前授業）と検討していたこともあり、ぜひ実現したいと思った。

プロジェクト名	リモート職場
20年後の十勝はこうなる	十勝で働く人が増える！



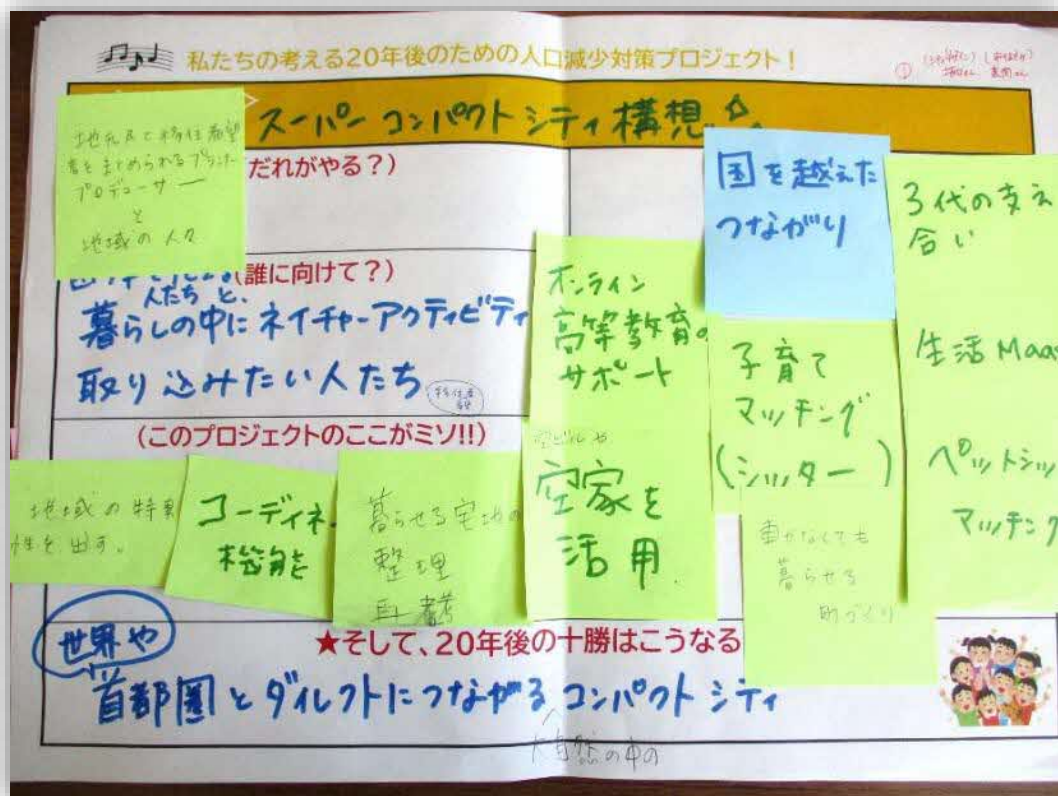
○主な発言（発表者）

- ・このプロジェクト思いついたきっかけは人が出ていく原因は十勝には仕事が少ないなと感じたこと。今、自分たちも就職活動をしているが、十勝は仕事（の種類）がないなと感じ、札幌や本州に魅力を感じるが多々ある。
今はコロナでリモートワークが導入されているので、それをサポートするため、十勝にリモート職場を作ろうと思った。 coworkingスペースを作り、そこにキッチンカーを置き、ランチがとれるようにするなどオフィスとして使ってもらえるような環境を整備する。また、使いやすい定額制カーシェアリングなどを導入する。
- ・十勝にいても遠くの仕事ができる、十勝にいながら働くことができる。会社に行かなくても全国どこの仕事でもできることで、十勝から出て行く人が減るのではと思った。

○意見交換

- ・街中で車を持っていない人も移動に困らず仕事ができる環境を作りたい、ホテルだけにとどまらずほしくないと思い、違う場所にワーキングラウンジを作ってみた。今は、個別ブースや大画面でオンライン会議ができる場所を整備している。
帯広はワーケーションがしやすいというイメージを作りたい。
- ・自分は元々教育関連の仕事をしていたが、学生と接する中で、地元に戻りたい若者が非常に少ないと感じた。今は少し時代が変わってきているなと思う。例えばデザイン関係の仕事であれば道内であれば札幌じゃないと成り立たなかった仕事が、今は帯広でも在宅でできるようになっている。
- ・発表の中で良かったなと思うところは、今までだと大拠点構えることばかりだったように思うがもっと流動的にとらえており、先を見据えたいいい取組みである。

プロジェクト名	スーパーコンパクトシティ構想◇
20年後の十勝はこうなる	世界や首都圏とダイレクトにつながる大自然の中のコンパクトシティ



○主な発言（発表者）

・コーディネーターが暮らしの中で出てくる様々な悩みを受け止めて、解決に導く。助けてほしい人と助けたい人、何か起こしたい人とのマッチングを実現する。その機能を最小限にしたスーパーコンパクトシティ構想。

【例えば】豊かな暮らしのために

- ・ベビーシッター、ペットシッターのマッチング事業
- ・空き家活用プロジェクト
- ・オンライン高等教育のサポート
- ・生活Maas（車がなくても暮らせるまちづくり）
- ・安心して子育てができるまち、多様なライフスタイルから出てくる生活の悩みを解決してくれるコーディネーターのいるまちづくりを進め、今の子どもたちが20年後にマイナスな理由で十勝を離れないようなまちに。
- ・「世界や首都圏とダイレクトにつながる大自然の中のスーパーコンパクトシティ」が実現し、さらに便利になる生活といつでも身近に大自然を体感できる十勝の優位性を活かし、暮らしの中にネイチャーアクティビティを取り入れたい人達を呼び込むまちに。

○意見交換

- ・一昔前は、住む地域といえば「職業」が絶対条件だった。今は多様化している。高卒で都会に出るのは悪いことではない、子どもが産まれたりすれば環境を変えたくなるその時に十勝に行くという選択肢もある。
- ・どうやって外にアピールするかが絶対大事
- ・旭川の西神楽では空き家をフルリフォームし、首都圏の企業にターゲットを絞ってPRしたことで効果

があり、爆発的に人が入ってきた。求めている人がどこにいるか。そこをリサーチして、発信する。

- ・十勝は、ポテンシャルが高く、住み心地がすごくいい。

十勝は林業も盛んな地域。林業は山の中が作業現場なので、なかなか皆さんの目に触れることもない。体力がないとだめなのかと敬遠されがちな職業かと思っていたが、最近は女性の方や、ユンボ（パワーショベル）で木を伐採するなど、機械化が進み、興味を持つ方が多くなってきている。そういう方を対象にしたバスツアーなども企画している。

- ・小学生で地域の教育を行う。でも、ほとんどの子どもが覚えていない。地元に着いていない。やり方に工夫が必要だと思っている。いただいたアイデアを少しでも現場の教員に伝えたい。

ゆるっと未来トーク メンバーの皆様



『とちいき魅力創出事業(R2年度地域政策推進事業)』